

履修登録の有無にかかわらず、多くの学生、教職員の方の聴講を歓迎いたします

2019年度 春学期・夏学期開講

# 科学技術政策特論

第9回講義

## 科学技術政策の現状と課題

文部科学省 科学技術・学術政策局長

松尾 泰樹 氏

### 松尾先生からのメッセージ

ICTの進化等により、社会・経済の構造が日々大きく変化する「大改革時代」が到来した。国内外の課題が増大、複雑化する中で、大学の果たす役割は一層大きくなっている。今の時代にあって、大学はどう変化し、または変化して行かなくてはならないのか。国民の期待と現実を考察し、今後の大学の在り方を検討したい。

また、その変化する社会の中で、理科系学生が直面する課題と期待についても、皆さんと一緒に考えて行きたいと思います。

日時:

2019年6月14日

金曜日

5講目 16:30-18:00

場所:

工学研究院

オープンホール

[B-201]

松尾 泰樹 先生

青森県出身、昭和62年東京大学大学院理学系研究科物理学専門課程修了。

科学技術庁入庁、外務省経済局、在中国日本国大使館、文部科学省ライフサイエンス課、理化学研究所、文部科学省学生・留学生課、人材政策課、大臣官房等の勤務を経験され、現在は科学技術・学術政策局長として科学技術政策全体を俯瞰する立場で行政に従事されています。

担当:工学系教育研究センター 矢久保考介教授  
内線:7163 Mail: ceed-ind@eng.hokudai.ac.jp